

道産コーンウイスキープロジェクト キックオフミーティング

令和3年(2021年)6月16日

次第

1 開会

2 議事

(1) プロジェクトの企画、とりまく環境

(2) 研究内容

(3) 推進体制

3 閉会

道産コーンウイスキープロジェクト

プロジェクトの企画、 とりまく環境

道総研チャレンジプロジェクト

— 社会的存在意義のあるシンク&ドゥタンクをめざして —

●チャレンジプロジェクトとは

重要課題に
果敢にチャレンジ

研究 × 事業 → **成果の普及・社会実装**

●プロジェクトの進め方

①構想・企画

マーケティングに基づき、
理事長がテーマ、目標を設定



②パートナーシップの構築

事業化を目指す企業・団体等
とパートナーシップを構築



③プロジェクトの実施

研究開発、調査、コンサルティ
ング、技術指導、調整、広報
など、パートナーとともに幅広く
活動



④成果普及・社会実装




市場の創造と拡大
道民・道内企業サポーター
の確保



事業継続
新たな展開



道産コーンウイスキープロジェクト コンセプト

新たな市場をつくる	飲んでよし 訪れてよし	経済と農業に貢献
<p data-bbox="182 592 590 696">個性・独自性の発揮 北海道ブランド</p> 	<p data-bbox="872 592 1193 696">地域との連携 食文化との融合</p> 	<p data-bbox="1487 592 1871 696">経済の活性化 輸出産業への振興</p> 



プロジェクトの実施内容

北海道産コーンウイスキー

研 究

- とうもろこしや大麦等の原料品質に合わせた製造条件
- 新たな木製樽などの開発



事業化

- 北海道・地域の個性や風土にこだわった製造・販売
(地域の食・観光産業等とも連携)
- とうもろこしや大麦の生産による地域の農業振興に貢献

北海道の資源・魅力・ストーリー



プロジェクトメンバー

区分	構成機関
原材料生産・供給	株式会社N-G R I T S そらち南農業協同組合 中標津クラフトモルティングジャパン株式会社
ウイスキー製造	北海道自由ウキスキー株式会社 北海道自由ワイン株式会社 株式会社ニセコ蒸溜所
流通	国分北海道株式会社
研究推進	農業研究本部 中央農業試験場 産業技術環境研究本部 食品加工研究センター 森林研究本部 林産試験場 林業試験場 本部研究戦略部（プロジェクト統括）



道総研の研究実績 「北海道の酒づくり」

道産酒米の開発



商品化支援
技術指導



清酒
ワイン酵母
醸造技術



道総研の研究実績 「道産コーングリッツ」



マルチコーンの選定



食味に適した品種ビビアンを選定

食材化技術の開発



コーングリッツ加工・販売

商品開発・事業化

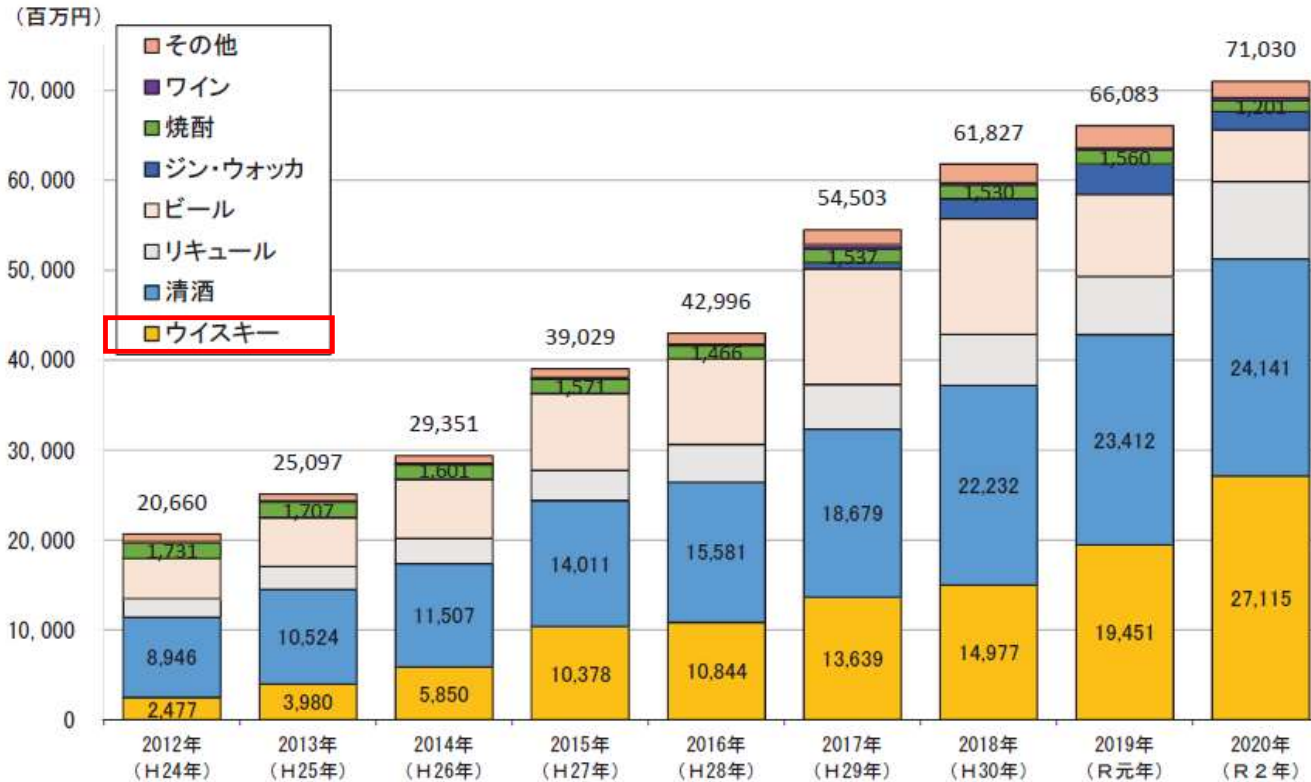


食品、焼酎の商品化



日本産酒類の輸出動向

(国税庁「酒のしおり(令和3年3月版)より引用)



○品目別輸出金額 (単位:百万円)

品目	2020年	対前年増減率
ウイスキー	27,115	+39.4%
清酒	24,141	+3.1%
リキュール	8,623	+33.9%
ビール	5,772	▲37.0%
ジン・ウォッカ	2,019	▲40.7%
焼酎	1,201	▲23.0%
ワイン	348	+99.8%
その他	1,811	▲26.9%
合計	71,030	+7.5%

○輸出金額上位10か国・地域 (単位:百万円)

国・地域	2020年	対前年増減率
中華人民共和国	17,292	+70.9%
アメリカ合衆国	13,840	▲11.6%
香港	9,975	+59.5%
台湾	6,541	+5.5%
シンガポール	3,829	+11.2%
フランス	3,185	▲7.4%
オランダ	3,062	▲15.1%
オーストラリア	2,617	+14.2%
大韓民国	1,919	▲68.8%
ロシア	1,282	+237.5%
(参考)EU	7,247	▲20.9%

○2020年の輸出金額の推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
輸出金額 (億円)	50.1	55.9	55.5	52.5	38.6	55.3	57.8	53.0	61.9	72.3	73.5	84.0	710.3
対前年同期比 (%)	+0.8	▲7.3	▲19.2	▲19.2	▲27.1	▲16.3	▲1.2	+17.2	+28.4	+53.6	+68.2	+51.5	+7.5

出典:財務省貿易統計



「ジャパニーズウイスキー」の使用基準

(日本洋酒酒造組合制定・HPより引用)

【施行日 2021年4月1日】

適用範囲		事業者が日本国内において販売するウイスキー及び日本から国外向けに販売するウイスキーについて適用する。
原材料		原材料は、麦芽、穀類、日本国内で採水された水に限ること。 なお、麦芽は必ず使用しなければならない。
製 法	製 造	糖化、発酵、蒸留は、日本国内の蒸留所で行うこと。 なお、蒸留の際の留出時のアルコール分は95度未満とする。
	貯 蔵	内容量700リットル以下の木製樽に詰め、当該詰めた日の翌日から起算して3年以上日本国内において貯蔵すること。
	瓶 詰	日本国内において容器詰めし、充填時のアルコール分は40度以上であること。
	その他	色調の微調整のためのカラメルの使用を認める。

道産コーンウイスキープロジェクト

研究内容



ロードマップ（検討中）

主な内容	メンバー	令和3年度 2021	令和4年度 2022	令和5年度 2023	令和6年度 2024	令和7年度 2025
原材料の選定	<ul style="list-style-type: none"> ・そらち南農業協同組合 ・N-GRITS ・中標津クラフト ・モルティングジャパン 農	原材料の選定	供給体制の確立			
道産コーンウイスキーの製造	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道自由ワイン ・北海道自由ウキスキー ・ニセコ蒸溜所 産	モルトの特性評価	小仕込試験	醸造試験（現地）	蒸留試験（現地）	技術指導・コンサルティング
道産木製樽の開発	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道自由ワイン ・北海道自由ウキスキー ・ニセコ蒸溜所 林 産	樽樹種×酒質に係る研究	樽構造・処理×酒質に係る研究	樽形状×酒質・効率性に係る研究		
普及支援	<ul style="list-style-type: none"> ・国分北海道 他各社 本 農 産 林		商品化、地域産業化に向けた展開			

道産コーンウイスキーの販売



研究推進内容（案） 原材料の選定



大麦りょうふう
(道総研開発)

- 原料(大麦、コーン)の適品種選定
- サプライチェーンの構築、拡大
 - 道内大麦・コーン生産者
 - 麦芽製造業者・製粉業者
 - コーンウイスキー製造業者

研究推進内容（案） 道産コーンウイスキー製造



道産モルト



- 道産モルトの特性評価
- 蒸煮－糖化－醸造工程の検討
- パートナー企業での醸造、蒸留試験の支援
- 製造方法の普及

道産コーングリッツ





研究推進内容（案） 道産木製樽の開発



- ミズナラに続く
ウイスキー樽向け木材の探索
- ロスが少ない樽材の加工技術
- 新たな形状や構造の検討

道産コーンウイスキープロジェクト

推進体制



プロジェクト推進の枠組み

研究推進期間

令和3年度(2021)
～
令和7年度(2025)

実施内容

- ・道産コーンウイスキーの原材料(コーン、大麦等)の生産促進
- ・道産コーンウイスキー製造に係る試験研究
- ・道産コーンウイスキーと地域食産業、観光等との連携
- ・道産コーンウイスキーに関する情報発信およびその支援

今後検討を行い、実施計画等で整理(主な事項)

ロードマップ
全体計画

ミーティング
必要に応じて開催
情報共有、進捗管理

広報
活動状況の発信

計画(2021)
事項別の
個別計画を作成

メンバー追加
現メンバーの推薦
に基づき協議

研究・知的財産
契約書等の締結
協議



そらち南農業協同組合



- JAそらち南は、人と自然を大切にし、社会に発展と豊かな暮らしの実現に貢献

キーワード

信頼・貢献・発展

とうもろこし(子実)導入効果のイメージ



子実収穫:加工原料

茎葉を細切し鋤き込み、多量の有機物を供給して土づくり

深く伸びる根が、硬い土に空隙を作り、透排水性が向上する

- 子実とうもろこしを利用してコーングリッツを製造し、お菓子お酒など付加価値をより高めることができるなど6次産業化を推進



プロジェクトメンバー

株式会社N-GRITS



栗山町に建設中のコーングリッツ工場:イメージ図



- 原料生産現場と連携した
6次産業の展開による地域農
業への貢献
- 国内自給率0%の
コーングリッツ市場への参入
- 道産イメージを強調した
多様な用途への拡販戦略



中標津クラフトモルティングジャパン株式会社



- 大麦の生産および、モルト販売事業、フロアモルティングによるモルト製造販売
- 中標津希望農場産 発芽麦茶・あずき茶・きな粉等の加工販売
- 2πCOWS CAFÉの経営
- ウイスキー製造販売
(令和5年(2023)予定)



プロジェクトメンバー



北海道自由ワイン株式会社



■ 果実酒(ワイン)製造

■ ブランデー製造

■ ウイスキー製造



プロジェクトメンバー



北海道自由ウキスキー株式会社

HOKKAIDO LIBERTY WHISKY INC.



■スピリッツ製造

■リキュール製造





プロジェクトメンバー

株式会社ニセコ蒸溜所



■ ウイスキー・ジンの製造

■ 店舗運営





国分北海道株式会社



- 食品・酒類卸売業
- メーカー商品取扱い及び「K&K」をはじめとする国分ブランド商品の開発・販売。
- 北海道を中心として、道外・海外も含めた様々な地域へ食の提案。卸売業主導のブランディングで食のマーケットをリードします。広大な北海道の土地に住む人々を支え、北海道の流通を担います。





地方独立行政法人 北海道立総合研究機構



道総研



- 法人本部と5つの研究本部、21の試験場等からなる総合研究機関。
- 農業、水産、森林、産業技術、エネルギー・環境・地質及び建築・まちづくりの各分野の試験、研究、調査、技術開発、普及、技術支援、事業化の支援、設備・施設の提供 等